



3WDキット

Greensmaster® eTriFlex® 3360 および 3370 トラクションユニット用

モデル番号 04504—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

取り付け

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カuttingユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体の電源コネクタを外す; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

2

車体をジャッキで持ち上げる場合

必要なパーツはありません。

手順

マシンを持ち上げるマシンのオペレーターズマニュアルの整備前の準備の項を参照。

3

後輪を取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. ホイールをホイールハブアセンブリに固定しているラグナット4個を外す [図 1](#)。

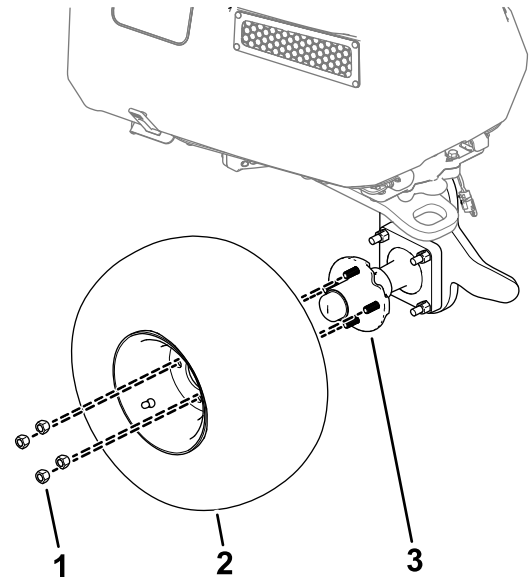


図 1

g293906

- | | |
|----------|----------------|
| 1. ラグナット | 3. ホイールハブアセンブリ |
| 2. タイヤ | |

2. ホイールを機体から外す [図 1](#)。



4

既存のホイールハブアセンブリを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

既存のホイールハブアセンブリをキャストフォークに固定しているボルト・ナットを外してアセンブリを取り外す 図 2。

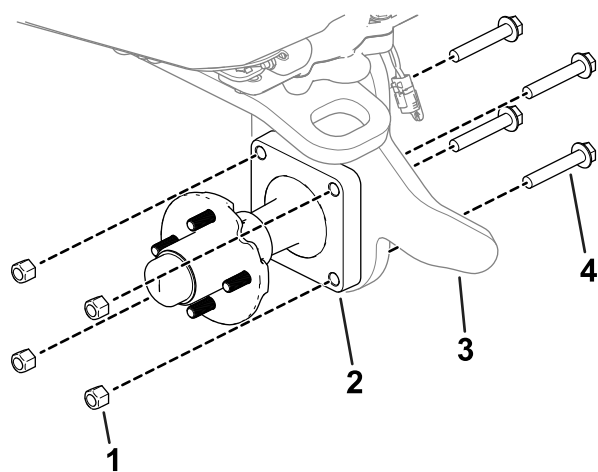


図 2

g293905

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ナット | 3. キャスタフォーク |
| 2. ホイールハブアセンブリ | 4. ボルト |

5

ギアボックスの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ギアボックスアセンブリ
1	ダストキャップ
1	スナップ・リング
4	ボルト M12
1	フィッティング
1	ベントホース

手順

1. スナップリング 図 3 をアクスルから外す。

2. ギアボックスからハブアセンブリ 図 3 を外す。
3. キャスタフォークにギアボックスを入れる。

注 ギアボックスは 図 3 のように取り付けるのが正しい取り付けです。アクスルシャフトが車体の左側に突き出すのが正しい向きです。

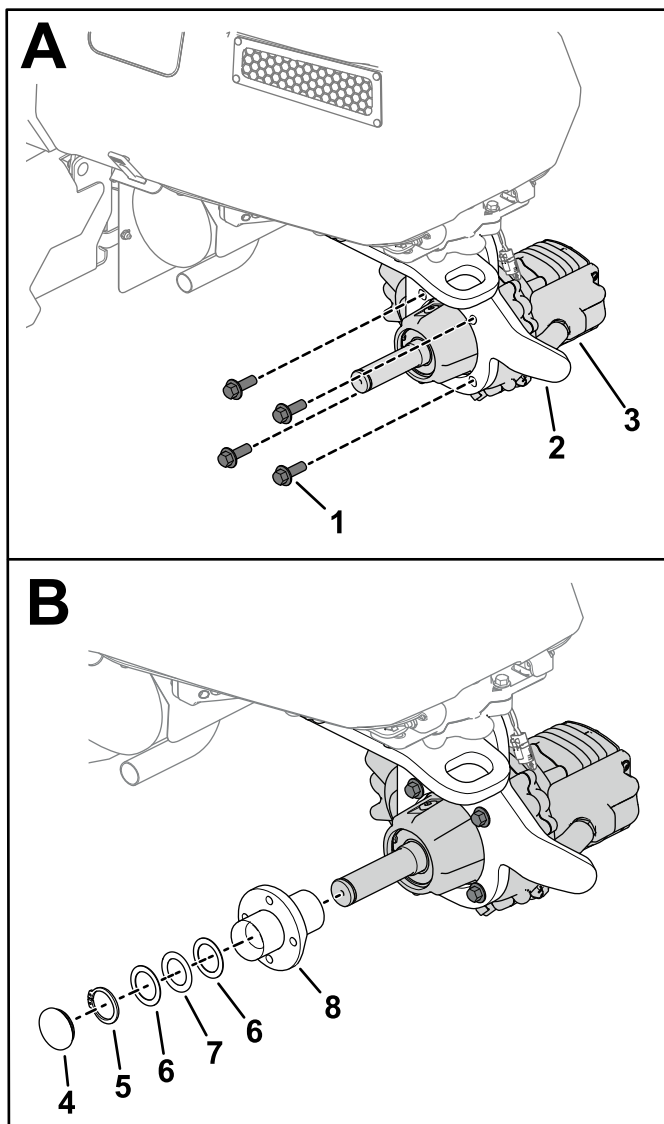


図 3

g311730

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. ボルト M12 | 5. スナップリング |
| 2. キャスタフォーク | 6. スラストワッシャ |
| 3. ギアボックス | 7. ベアリング |
| 4. ダストキャップとOリング | 8. ハブアセンブリ |
4. ボルト (M12)4本を使って、ギアボックスをキャストフォーク (図 3 図のA) に固定する。
 5. ボルト(M12) を81 -95 N・m (8.75-10.26kg・m) のトルクで締め付ける。
 6. ハブアッシー、スナップリング、Oリング付きダストキャップをアクスルシャフト 図 3 図のBに取り付ける。

スナップリングを取り付ける時に、ハブアセンブリのウェーブワッシャを圧縮してください。

注 ハブアセンブリからスラストワッシャーとベアリングを取り外されている場合は、[図 3](#)図のように組み付ける。

7. ギアボックスの上部についているプラグを抜取る [図 4A](#)。

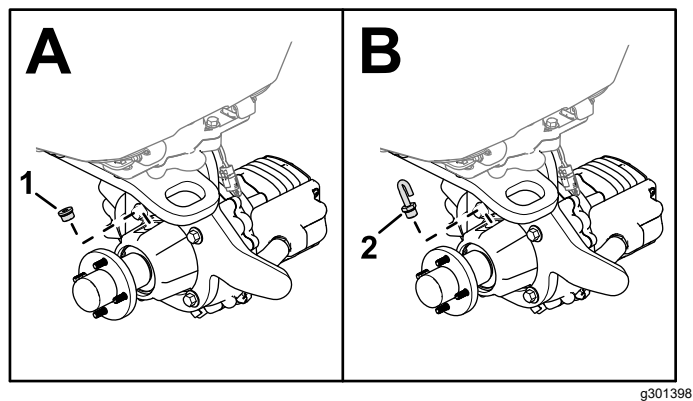


図 4

1. プラグ
2. 換気ホースとフィッティング

-
8. 通気ホースとフィッティングをギアボックスに固定する [図 4B](#)。

6

ギアボックスワイヤーハーネスの接続

この作業に必要なパーツ

1	R クランプ
1	ボルト5/16 x 1½"
1	ロックナット5/16"
1	押し込みファスナー

手順

1. フードを上げる。マシンの取扱説明書を参照方。
2. 図 5 に示すように、ギアボックスワイヤーハーネスをフードに向かって配線し、R クランプで固定する。

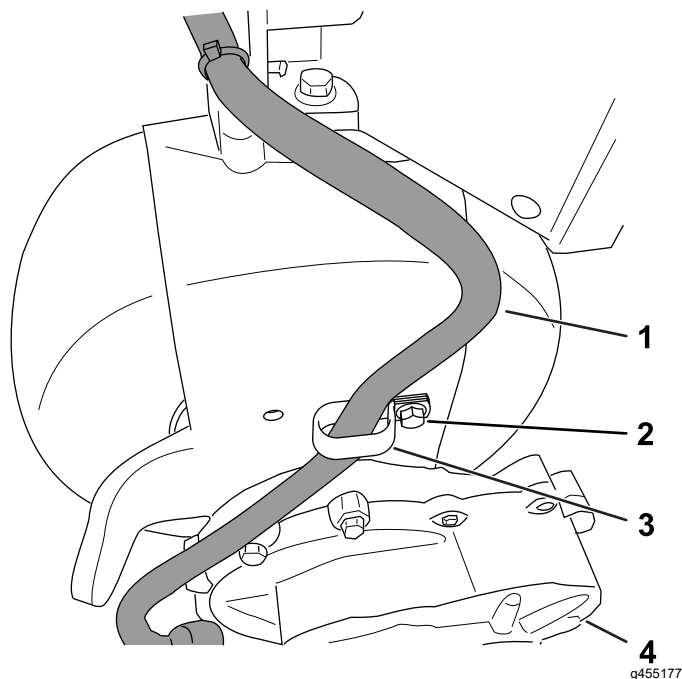


図 5

1. ギアボックスワイヤーハーネス
2. ボルト5/16 x 1½"
3. R クランプ
4. ギアボックス

3. 残りのギアボックスワイヤーハーネスコネクタをステアリングモーターに向けて配線する(図 6)。

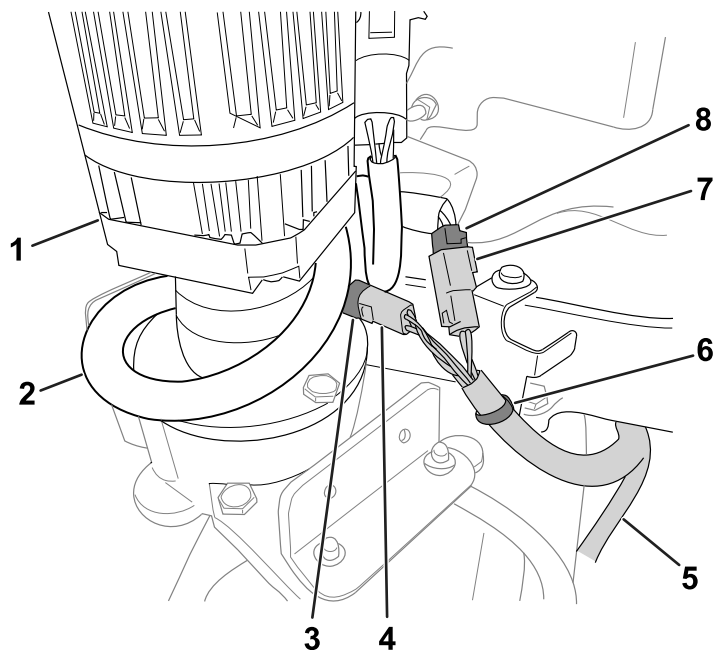


図 6

g344561

1. ステアリングコラム
2. 車両のワイヤーハーネス
3. 4ソケットコネクタ車両のワイヤーハーネス
4. 4ピンコネクタギアボックスワイヤーハーネス
5. ギアボックスワイヤーハーネス
6. 押し込みファスナー
7. 2ソケットコネクタ車両のワイヤーハーネス
8. 2ピンコネクタモーターギアボックスワイヤーハーネス

4. プッシュマウントを所定の位置に残したまま、マシンハーネスをブラケットに固定しているタイラップを切る(図 6)。タイラップを廃棄する。
5. ギアボックスコネクタをマシンのワイヤーハーネスコネクタに接続する(図 6)
 - ギアボックスの2ピンコネクタをマシンのワイヤーハーネスの2ソケットコネクタに
 - ギアボックスの4ピンコネクタをマシンのワイヤーハーネスの4ソケットコネクタに
6. ワイヤーハーネスの余り部分は、図 6 のようにステアリングモーターにゆるく巻き付ける。
7. キットに付属のタイラップを使って、図 6 に示すようにギアボックスハーネスをプッシュマウントに固定する。
8. フードを閉じる。

7

ハブアセンブリのグリスアップ

必要なパーツはありません。

手順

ハブアセンブリをグリスアップする [ハブアセンブリのグリスアップ \(ページ 7\)](#) を参照。

8

後輪を取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 先ほど外したラグナットを使って、ホイールをハブに固定する [図 7](#)。

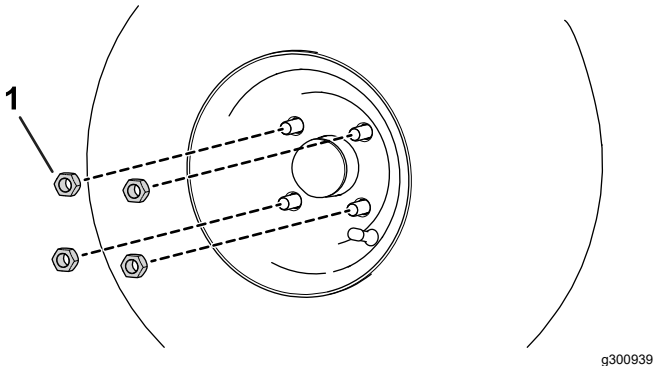


図 7

1. ラグナット

2. [図 8](#) のように対角線パターンで、ラグナットをトルク締めする 108-122 N·m 11-12 kg.m = 80 to 90 ft-lb。

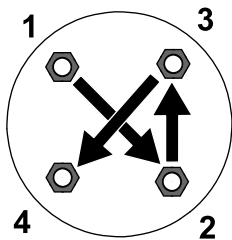


図 8

9

ヒューズを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ヒューズ
---	------

手順

3WD 用のヒューズスロット後リール駆動回路のヒューズブロックにあるにヒューズを取り付けるマシンのオペレーターズマニュアルの電気系統の整備の章を参照。

10

シリアルプレートデカールの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	シリアルプレートデカール
---	--------------

手順

図 9 に示すように、フレームチューブにシリアルプレートデカールを貼り付ける。

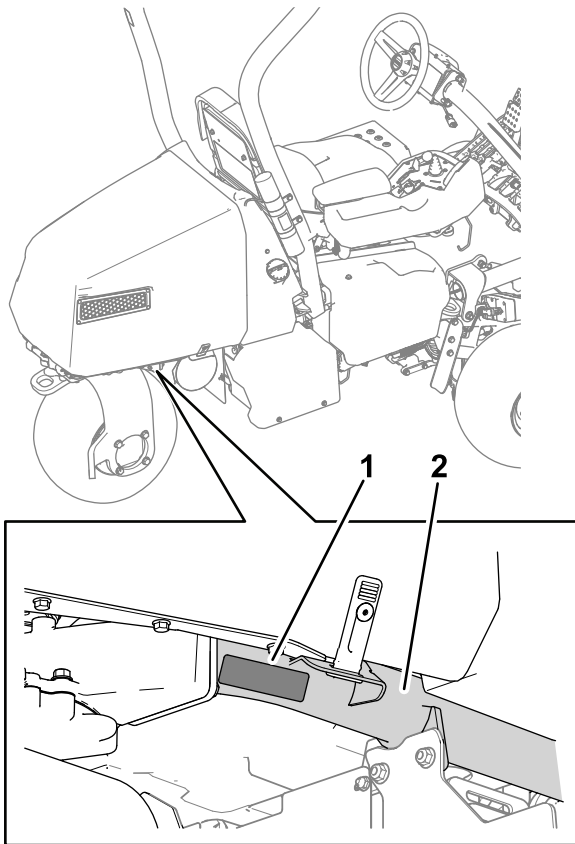


図 9

g492071

1. シリアルプレートデカール 2. フレームチューブ

11

3WD モードへの切り替え

必要なパーツはありません。

手順

ギアボックス ワイヤーハーネスをマシンのワイヤーハーネスに接続すると、3輪駆動モードが自動的に有効になります。

3輪駆動モードが有効になっていることを確認するには、インフォセンターの設定メニューの3WD キットオプションに移動します。選択済みアイコン ☒ があれば、3WD モードへの切り替えができています。

12

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

1. 機体を床に降ろす。
2. 車両の電源コネクタを接続する; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

保守

ハブアセンブリのグリスアップ

整備間隔: 100運転時間ごと

No. 2 リチウムグリスでハブアセンブリのグリスアップを行う。ハブアセンブリのグリスポイントについては図 10を参照。

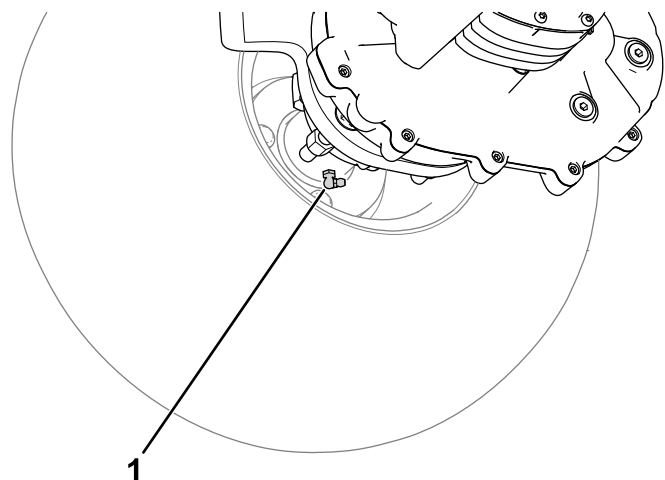


図 10

g300937

1. グリスフィッティング

ギアボックスオイルの交換

整備間隔: 使用開始後最初の 8 時間

800運転時間ごと

オイルの仕様 SAE 80W-90

ギアボックスオイルの量約 1.2 リットル

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カuttingユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体の電源コネクタを外す; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

ギアボックスオイルの抜き取り

1. ホイールモーターアセンブリ下にオイルを受ける容器を置く図 11。

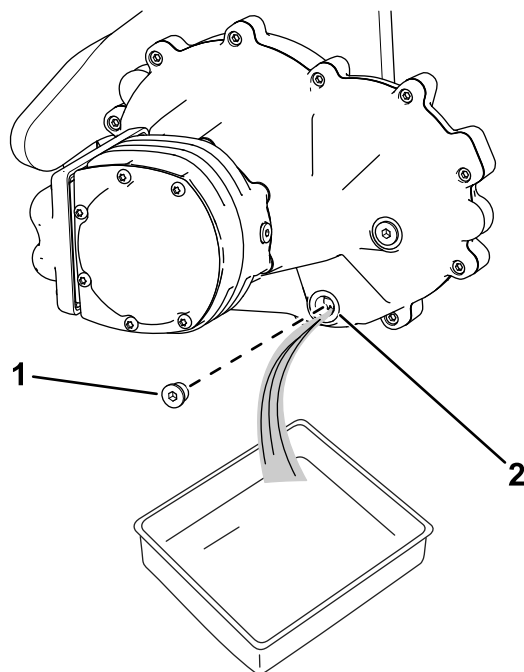


図 11

g300938

1. ドレンプラグ
2. ドレンポート

2. ドレンポートからプラグを外す図 11。

注 ドレンポートはギアボックスの底部にあります。

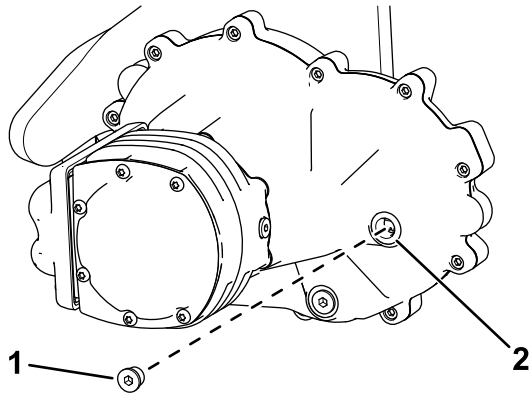
注 充填ポートの留め具を緩めると図 12に示すように、液体を排出した後に確実に取り外せるようになります。

3. ギアボックスから液体が完全に排出されるようにする。
4. プラグをきれいに拭く。

5. ドレンポートにドレンプラグを取り付ける [図 11](#)。

ギアボックスにオイルを入れる

1. [図 12](#)に示す充填ポート留め具を取り外す。



g321851

図 12

- | | |
|------------|----------|
| 1. フィッティング | 2. 補給ポート |
|------------|----------|

-
2. 液体レベルが充填ポートの真下に達するまで、指定された液体をギアボックスに追加する。
ギアボックスの液体容量は約1.2 L。
 3. 留め具を注入口に取り付ける ([図 12](#)) 。

メモ

メモ



Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社は、Toro 社の製品以下「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間*のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレーターを除くすべての製品に適用されますエアレーターに関する保証については該当製品の保証書をご覧ください。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工資、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品や Toro 以外のアクセサリ類を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨される整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャストホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用にともなう音、振動、磨耗、損耗および劣化。通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、マシンの塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって交換された部品は製品の当初保証期間中、保証の対象となり、取り外された製品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。場合により、弊社は再製造部品による修理を行います。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。注リチウムイオンバッテリーバッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライブ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレイキクラッチ統合ブレードブレイキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライブ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレイキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

Toro 社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。当社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。



Count on it.